

2022年度

特定非営利活動法人 京都府ライフセービング協会 事業報告書



特定非営利活動法人京都府ライフセービング協会

目次

I. はじめに

▶	<u>京都府ライフセービング協会のあゆみ</u>	1
▶	<u>2022年度主な年間活動記録</u>	2
▶	<u>事業の概要と成果</u>	3

II. 具体的な事業

1-1	<u>ライフセービングに関する事業</u> <u>(海水浴場の安全監視・事故防止活動・関係機関連携)</u>	4-14
▶	高槻市教育委員会 保健体育科研修	
▶	出張授業(宮津市立吉津/宮津/府中小学校) JLAスポーツ庁助成事業	
▶	出張授業(高槻市立寿栄/三箇牧小学校)	
▶	臨海学校(四條畷学園/池田市立池田小学校)	
▶	由良川里山プロジェクト(SUP体験ガード)	
▶	トリアスロン競技会(びわ湖近江八幡/LAKE BIWA守山/京都丹波南丹)	
▶	JLAスポーツ庁事業報告会	
▶	IRB (インフレーターブルレスキューボート) 進水式	
▶	ビーチクリーン・防災	
1-2	<u>ライフセービングに関する指導及び普及事業 (JLAアカデミー)</u>	15-21
▶	BLS/ウォーターセーフティ/ベーシックサーフライフセーバー講習会	
▶	IRBクルー&ドライバー講習会	
▶	指導員養成講習会 (BLS、ウォーターセーフティ、サーフ)	
▶	更新講習会	
▶	指導員派遣	
1-3	<u>ライフセービングに関する競技会</u>	22
▶	全日本ライフセービング選手権近畿ブロック予選会	
▶	オーシャンサーフチャレンジin白浜2022	
2	<u>青少年に対するライフセービング事業</u>	23-25
▶	Jr. ライフセービングプログラム(地域総合型スポーツクラブRAINBOW)	
▶	Jr. ライフセービングプログラム (競技会/BLS/防災/環境)	
3	<u>講演会</u>	26
▶	「文部科学省選定映画」夢見る小学校上映会	
▶	環境活動家 地球を守ろう 代表 谷口たかひさ お話会	
4	<u>SUBARUライフセーバーカー</u>	27
III 総会	<u>通常総会</u>	28

広報 Facebook・Instagram・Twitter・YouTube フォロワー

ICT教材「e-Lifesaving 守ろう!いのち 学び合おう!水辺の安全」

京都府ライフセービング協会のあゆみ

2000年	7月	任意団体「舞鶴ライフセービングクラブ」設立	舞鶴市の神崎海水浴場で活動開始
2008年	7月	宮津市の天橋立海水浴場に拠点を移す。	
2009年	4月	任意団体「京都ライフセービング」に名称変更	
	7月	新たに府中海水浴場で監視業務を開始	
2010年	4月	「特定非営利活動法人京都ライフセービング」設立	
2014年	7月	新たに丹後由良海水浴場で監視業務を開始	
2018年	9月	任意団体を「天橋立ライフセービングクラブ」に名称変更	
2018年	12月	NPO法人を「特定非営利活動法人京都府ライフセービング協会」に名称変更	
2019年	4月	公益財団法人日本ライフセービング協会加盟の京都府ライフセービング協会として本格始動	天橋立LSC, 淡路島LSC, 大阪LSC, 神戸LSC, せんなん里海公園淡輪LSCの都道府県協会を担う。
2020年	4月	兵庫県協会設立により天橋立LSC, 大阪LSC, せんなん里海公園淡輪LSCの都道府県協会を担う。	
2022年	6月	滋賀県に近江舞子ライフセービングクラブが設立され、都道府県協会を担う。	
2023年	4月	大阪府協会設立により天橋立LSC, 近江舞子LSCの都道府県協会を担う。	

あなたの生き方が変わる

環境活動家「地球を守ろう」代表
谷口たかひさ
お話し会



12

13

14

15

17

参加無料
カンパにご協力ください

12月3日(土) 14:00~16:00

会場: 舞鶴市城南会館
〒624-0831 京都府舞鶴市女布406-3

お子様連れ大歓迎! お子様と一緒に話聞いてみませんか?

今、本当に大切なもの...

- 自己肯定感持っていますか?
- 他人軸ではなく自分軸で生きていますか?
- 子どもにとってお母さんの存在って?
- いい教育・いい子育てってなんだろう?
- メディアに踊らされていないですか?

プロフィール

ドイツ在住の環境活動家&実業家。2021年国連総会(UNGA)で司会・スピーチを務める。「みんなが知れば必ず変わる」をモットーに、『地球を守ろう』代表として気候危機と自己肯定感の講演を全国で1000回(2年間)開催しています。詳細プロフィールはこちらをチェック! →



【お申し込み】



【お問い合わせ】

office@kyotolifesaving.org

主催 NPO法人京都府ライフセービング協会
共催 一般社団法人 桜artアンサンブル
天橋立ライフセービングクラブ
後援 舞鶴市 舞鶴市教育委員会





▶ 2022 年度主な年間活動記録

				イ	ベ	ン	ト	名	場	所
4 月	9	日	(土)	NPO法人京都府ライフセービング協会通常総会	オンライン/リアル開催	舞鶴漕艇センター				
	9	月	(土)	天橋立ライフセービングクラブ (ALSC)通常総会	オンライン/リアル開催	舞鶴漕艇センター				
	23	日	(土)	IRB進水式		舞鶴漕艇センター				
5 月	7	日	(土)	JLA指導員養成講習会 (サーフ) 7月9日・10日	リゾートオフィス丹後由良交流拠点/丹後由良海水浴場					
	22	日	(日)	ALSC ビーチクリーン・防災		天橋立海水浴場				
6 月	2	日	(木)	SUBARU ライフセーバーカー 引渡式		京都スバル 舞鶴店				
	5	日	(日)	びわ湖トライアスロンin近江八幡		滋賀県近江八幡市 宮ヶ浜水泳場				
	11	日	(土)	ALSC BLS/WS/BASIC講習会 12日・18日・19日		松風/丹後由良海水浴場				
	16	日	(木)	高槻市教育委員会 保健体育科研修		大阪府 高槻市教育センター				
	19	日	(日)	ALSC 講習会 (BLS)		京田辺市立中央公民館				
	22	日	(水)	ALSC 宮津市立吉津小学校 出前授業 (JLAスポーツ庁事業)		宮津市立 吉津小学校				
	24	日	(金)	親子で考えよう水辺の安全 大山崎町立第二大山崎小学校		大山崎町立 第二大山崎小学校				
	22	日	(水)	東大阪市立縄手東小学校 出前授業		大阪府 東大阪市立 縄手東小学校				
7 月	2	日	(土)	LAKE BIWA TRIATHLON in MORIYAMA (1日 (金) コース設営)		滋賀県 守山市 第2なぎさ公園				
	5	日	(火)	ALSC 宮津市立宮津小学校 出前授業 (JLAスポーツ庁事業)		宮津市立 宮津小学校				
	5	日	(火)	宮津海上保安署 意見交換会		宮津海上保安署				
	8	日	(金)	能勢ささゆり学園 水辺の安全講習		大阪府 能勢ささゆり学園				
	11	日	(月)	高槻市立寿栄小学校 出前授業		大阪府 高槻市立 寿栄小学校				
	12	日	(火)	ALSC 宮津市立府中小学校 出前授業 (JLAスポーツ庁事業)		宮津市立 府中小学校				
	13	日	(水)	高槻市立三箇牧小学校 出前授業 14日		大阪府 高槻市立 三箇牧小学校				
	19	日	(火)	四條畷学園小学校 臨海学校 20日・21日		京丹後市夕日ヶ浦海水浴場				
28	日	(木)	池田市立池田小学校 臨海学校		京丹後市夕日ヶ浦海水浴場					
8 月	1	日	(月)	ALSC Jr. プログラム 地域総合型スポーツクラブRAINBOW		天橋立海水浴場				
	7	日	(日)	京都丹波トライアスロン大会in南丹		南丹市 桂川(大堰川緑地公園)				
	12	日	(金)	ALSC Jr. プログラム 14日		天橋立海水浴場				
	13	日	(土)	ALSC ビーチフラッグス大会		天橋立海水浴場				
	31	日	(水)	明治国際医療大学ライフセービング実習サポート 9月1日		福井県 若狭和田海水浴場				
9 月	7	日	(水)	ALSC パトロール報告会		オンライン開催				
	18	日	(日)	全日本ライフセービング選手権近畿ブロック予選会 (17日準備)		丹後由良海水浴場				
	18	日	(日)	ALSC Jr. プログラム 「競技会を体験しよう」		丹後由良海水浴場				
10 月	9	日	(日)	由良川里山プロジェクト (SUP体験ガード)		福知山市 由良川支流 (牧川)				
	16	日	(日)	関西ライフセーバーズ運動会		兵庫県 須磨海水浴場				
	20	日	(木)	宮津海上保安署 報告会		宮津海上保安署				
	22	日	(土)	JLA都道府県協会代表者会議		オンライン/福岡県開催				
	30	日	(日)	オーシャンサーフチャレンジin白浜		和歌山県 白良浜海水浴場				
11 月	19	日	(土)	夢見る小学校上映会 20日		舞鶴市総合文化会館 小ホール				
12 月	1	日	(土)	環境活動家 地球を守ろう代表 谷口たかひさお話し会		舞鶴市城南会館				
	4	日	(日)	IRB研修会		舞鶴漕艇センター				
	25	日	(日)	ALSC Jr. プログラム 「BLSを体験しよう」京都府交響プロジェクト		宮津市 いなかよし				
	25	日	(日)	ALSC クリスマス会		宮津市 いなかよし				
1 月	14	日	(土)	ALSC Jr. プログラム 「防災について考えよう」京都府交響プロジェクト		宮津市 いなかよし				
	5	日	(土)	JLA指導員養成講習会 (BLS) 22日・28日・29日		大阪府 大阪ハイテクノロジー専門学校				
2 月	7	日	(火)	JLAスポーツ庁事業報告会 9日 (吉津) 14日 (府中)		宮津市立 宮津小学校				
	18	日	(土)	ALSC 講習会 (更新)		京田辺市 中央公民館				
	25	日	(土)	ALSC 講習会 (IRB ドライバー&クルー) 26日		リゾートオフィス丹後由良交流拠点/丹後由良海水浴場				
3 月	11	日	(火)	JLA指導員養成講習会 (WS) 12日		アミティ丹後/静の里温水プール				
	11	日	(土)	ALSC Jr. プログラム 「環境について考えよう」京都府交響プロジェクト		リゾートオフィス丹後由良交流拠点/丹後由良海水浴場				
	21	日	(火)	ALSC 講習会 (更新)		京田辺市 中央公民館				

事業の概要と成果

こんな時代だからこそ、「歩みを止めないこと、進み続けること」を大切に、当協会では活動を進めています。「現状維持は後退を意味する」事と肝に銘じ、自ら発信し、粘り強く活動を続けてきた結果、以下のような成果が生まれました。改めて大切なモノを守り活かす一連がライフセービングであることを実感した2022年度でした。今後も10年、20年後を見据えた活動ができるよう組織力強化、人材育成を図り、将来ビジョンを明確に活動し続けたいと考えております。改めて私たちの活動にご支援ご協力をいただいております、関係諸機関の皆様には厚く御礼申し上げます。

▶ 1-1 ライフセービングに関する事業（海水浴場の安全監視）

全国的な猛暑による紫外線やコロナ禍の影響もあり、近年「海水浴離れ」という言葉を耳にするようになりました。初めて海や砂浜に触れる子どもたちや、海で過ごすことに慣れていない大人は、否応なくリスクマネジメントの意識が低くなっています。そのような環境で我々に委ねられた役割は、非常に大きいものだと感じております。かつてキャリアの浅かったメンバーは監視の経験を積重ね、堂々と浜に立っています。今後も誰もが安心して海水浴を楽しめるよう、監視能力の向上と体制強化に取り組めます。

▶ 1-2 ライフセービングに関する事業（臨海合宿の安全監視）

近年、学校行事としての臨海合宿は廃止が相次いでいます。学校で最も課題となるのは、「安全管理が確保できない」という理由です。授業として海の楽しさや、その危険性を学び、体験する機会が失われています。そこで当協会は、出前授業として公益財団法人日本ライフセービング協会（以下JLA）が作成している《e-lifesaving》の視覚教材を活用し、『水辺の安全教育』の普及に力を注ぎました。再び子どもたちの笑顔に出会えることを願って、今後も活動を進めていきたいと考えております。

▶ 1-3 ライフセービングに関する事業（スポーツイベントの安全監視）

2年間余儀なく中止されていた各種大会も、関係する皆様のご尽力により、徐々に開催をされるようになりました。安全監視の一連の活動に携わることができ、改めて感謝いたします。医療チームを筆頭に、毎年ライフセーバーの視点や意見を重要視してくださり、監視体制や大会運営に多く反映をされています。過去の経験から結びつく信頼関係は、我々ライフセーバーとの経験を積重ねてきた結果である事を強く感じました。

▶ 2 ライフセービングに関する指導及び普及事業（JLAアカデミー）

ライフセービングの普及や、ライフセーバーの人材育成のためには、質の高い指導員の育成が重要であります。今後も協会として指導員の育成や上位資格取得の促進、各種講習会の開催を通して、ライフセービング活動の普及を加速させていきたいと考えております。

▶ 3 青少年に対するライフセービング事業

今年度は地域スポーツクラブ等との共催で、ジュニアプログラムを開催することができました。海に触れる機会の少なくなっている子どもたちに、様々な海の楽しみ方を伝えることができました。加えてここ数年、人とのコミュニケーションの機会が少なくなっている中で、海を通して子どもたちの笑顔が繋がり、生まれたことも大きな成果だと感じています。楽しさを体験する中から、自分の命は自分で守ること、水辺を避けるのではなく、危険性を知って安全に水辺と付合う方法を学び、共に経験を積重ねます。

▶ 4 ライフセービングの競技事業

これまで競技会はJLAが主導し開催をしてきましたが、今年度は当協会が中心となり競技会の企画・運営・安全管理を実施し、選手や審判としても大会に出場等をして、総合的に競技会をマネジメントできた事は大きな成果です。「関西からライフセービング活動の広がり！」をキーワードに、多くの人の支えによって作り上げられた当協会らしさを感じる大会であったと実感しています。

ライフセービング競技は全て現場のレスキューに繋がっています。競技力の向上や、レスキュー技術の向上、また組織体制の強化を「水辺の事故ゼロ」に繋げていきたいと考えています。

1-1 ライフセービングに関する事業（海水浴場の安全監視）

▶ 天橋立海水浴場（文珠）

① パトロール概要

監視期間	2022年7月16日（土）～ 8月16日（火）
監視時間	9:00～17:00
監視日数	計15日

② レスキュー概要

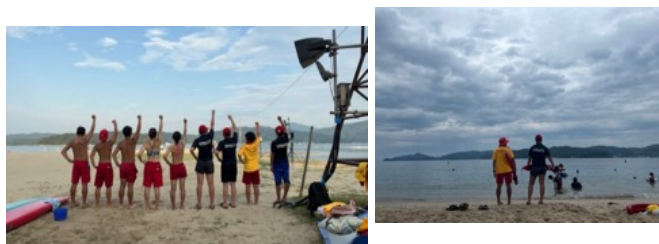
エマージェンシーケア 死亡/蘇生	救急車要請	予防対応	応急手当	迷子対応
0人 / 0人	1件	0件	4件	0件

③ パトロール総括

昨年度よりも新型コロナウイルスに関する制限が緩和し、withコロナ体制でのパトロール業務となりました。近隣の海水浴場も開設され、海水浴場利用者が分散されたためか、昨年度よりも海水浴場利用者は減少をしました。例年、沖に設置されるフロートは昨年に引き続き、今シーズンも設置がありませんでした。

今年も海水浴場内での盗撮疑いやストーカー行為、セクハラ等の相談を受け110番通報する事案が発生しています。今後は迷惑行為の未然予防や、安全な環境維持のため、ビーチパトロールだけでなく、松林や砂浜にもより目を配りビーチパトロールを強化していかなければなりません。

特記すべき救急車の要請事例として、遊泳区域内北側の岩場にて、海底より突き出した直径1cmほどの鉄丸棒が遊泳者のマリンスーツ側面最下部を突き抜け、左足に刺さり抜けなくなる事例が発生しました。現場で119番通報をし、駆けつけた救助隊によって水中の鉄丸棒が切断され、救急搬送となりました。その後、二次災害発生防止のため、観光協会及び文珠繁栄会と協議をし、事故現場を遊泳区域から外す対応をとりました。今回の事案は、年々地形が変化する遊泳区域に対して、監視業務前の事前調査が不足していた可能性が挙げられます。今後は監視業務前の、5水チェックは当然のこととして、危険因子の確認と排除を課題に取り組み、遊泳エリアの安全な環境を維持します。



1-1 ライフセービングに関する事業（海水浴場の安全監視）

▶ 府中海水浴場

① パトロール概要

監視期間	2022年7月16日（土）～ 8月16日（火）
監視時間	9:00～17:00
監視日数	計15日

② レスキュー概要

エマージェンシーケア 死亡/蘇生	救急車要請	予防対応	応急手当	迷子対応
0人 / 0人	0件	0件	0件	0件

③ パトロール総括

昨年度、波の浸食により発生していた、砂浜から波打ち際までの大きな段差は多少均されていたが、それでも落差のある波打ち際になっていました。文珠での対応と同じように、例年沖に設置されているフロートは、昨年につき今シーズンも設置はされていませんでした。

以前に比べて1日の海水浴場利用者は減少傾向で、利用者の多くは地元の方々を中心となり、府中を気に入って来場されるリピーター層もいらっしゃる印象でした。

府中海水浴場の特徴として、ライフセーバーの配置人員が少ない浜であるため、一人当たりの負担や業務は多くなっています。連日同じメンバーで監視を継続する事は、疲労の蓄積にもつながるため、人員配置を考慮して、多くのライフセーバーがローテーションを組み配置を調整できたことが非常に効果であったため、今後も継続をしていきます。

また、次年度以降の課題として、2名の配置の中で事故が発生した際の現場対応や応援要請、連絡体制を強化するためにも、継続的なトレーニングはもちろんのこと、効果的な現場対応力を向上させていくために検証を積み重ねたいと思います。



1-1 ライフセービングに関する事業（海水浴場の安全監視）

▶ 丹後由良海水浴場

① パトロール概要

監視期間	2022年7月16日（土）～ 8月16日（火）
監視時間	9:00～17:00
監視日数	計15日

② レスキュー概要

エマージェンシーケア 死亡/蘇生	救急車要請	予防対応	応急手当	迷子対応
0人 / 0人	0件	0件	0件	0件

③ パトロール総括

丹後由良海水浴場での監視活動が無事終了致しました。大きな事故や怪我、迷子等もなく監視活動を終えることができました。

今年は近隣海水浴場の閉鎖が解除され、由良でもコロナ以前のような入浜数となりました。例年共通をしていますが、地形的な課題によって監視本部から波打ち際が全く目視できない場所もあり、遊泳客のいる場所やレジャー内容に対応をして、ビーチパトロールやレスキューボードによる沖からのパトロールを行い、声掛けや広範囲のガード体制を工夫しました。

風で浮具が流される場面が多数ありましたが、アナウンスや直接的な声掛けの成果もあり、海水浴客の危険な行動の回避に繋がったと感じています。

現在の本部位置からは、西側エリアの監視負担が大きくなっていることが問題として挙げられますが、人員が確保できる際には配置を工夫したり、ビーチパトロールやレスキューボードを用いた沖パトロールを活用し、今後とも地形と入浜分布を考慮した活動を実施していきます。

【次年度への申し送りとして】

- インフレーターボードの使用について
フィンがある場合、ない場合の使用について行政、ライフセーバー間で条例に基づく共通認識をしておく必要があると感じました。
- 監視エリアが広範囲のため、監視本部とは別に浜にタワーがあった方が、より効果的な監視体制維持につながるのではないかと感じました。




ライフセービングに関する事業（事故防止活動・関係機関連携）

▶ 高槻市教育委員会 保健体育科研修


開催日時	2022年6月16日（木）
開催場所	大阪府高槻市 高槻市教育センター
主催・依頼	大阪府高槻市教育委員会学校安全課
ライフセーバー	山本良徳・竹内啓・中村佐知子
<p>昨年度、高槻市教育委員会に訪問をして、水辺の安全教育について意見交換をさせていただいた機会が、今年度は教育委員会主催の保健体育科研修の講師依頼へと繋がりました。</p>	
	

▶ 出張授業 宮津市立吉津小学校（JLAスポーツ庁助成事業）

開催日時	2022年6月22日（水）
開催場所	宮津市立 吉津小学校
主催・依頼	天橋立ライフセービングクラブ・宮津市立吉津小学校
ライフセーバー	山本良徳・中村佐知子
<p>昨年に引き続いて2年目となる出前授業でした。人懐っこい吉津小の児童は、昨年渡した修了書を持ってきてくれました。</p> <p>また昨年の授業で使用した動画のストーリーをととても詳しく覚えてくれたのが印象的でした。自ら危険を知り行動ができるように、記憶や心に残る授業を引き続き開催できるように努めたいと思います。</p>	
	

ライフセービングに関する事業（事故防止活動・関係機関連携）

▶ 出張授業 宮津市立宮津小学校（JLAスポーツ庁助成事業）


開催日時	2022年7月5日（水）
開催場所	宮津市立 宮津小学校
主催・依頼	天橋立ライフセービングクラブ・宮津市立宮津小学校
ライフセーバー	山本良徳、今堀加奈子・中村佐知子
<p>去年に引き続き2年目となる出前授業。夏休み前の子どもたちに、海や川などの自然を“安全に楽しむため、また“大切な命を失わないため、に大切なことを、年齢に合わせて伝え方等の工夫をしたり、楽しく学べるように試行錯誤をして伝えました。それぞれ学年毎のカラーがあり、同じ内容を伝えていても反応が異なりとても面白く、子どもたちの姿から学ぶことが沢山ありました。ライフセーバーとして未来ある子どもたちに「危ないから近づかない」ではなく「危険を知ること水辺と完全に関わる方法」をより効率的に伝えていかなければいけないと感じました。</p>	
	

▶ 出張授業 宮津市立府中小学校（JLAスポーツ庁助成事業）

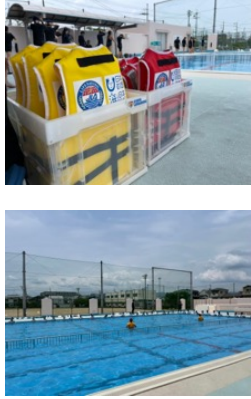
開催日時	2022年7月12日（水）
開催場所	宮津市立府中小学校
主催・依頼	天橋立ライフセービングクラブ・宮津市立府中小学校
ライフセーバー	中村佐知子
<p>去年に引き続き2年目となる出前授業。全校児童が一斉に集まり体育館での授業となりました。府中小学校は、学校の目の前に海が広がる地域のため、昨年引き続きe-lifesavingで海での動画を活用し授業を展開しました。離岸流の実験映像を視聴し、離岸流の仕組みや逃げ方についての説明をしました。去年よりもステップアップした内容を伝えることができました。</p> <p>また、授業実施後のアンケートでは、他に授業を実施した2校に比べて、海に親しみを持っていることも読み取ることができました。今後、海でのイベントを実施する際には、府中小学校を中心にうまくアプローチをすると、目的の達成のためにも良い反応が返ってくるかもしれないと感じる内容となりました。</p>	

ライフセービングに関する事業（事故防止活動・関係機関連携）

▶ 出張授業 東大阪市立縄手東小学校

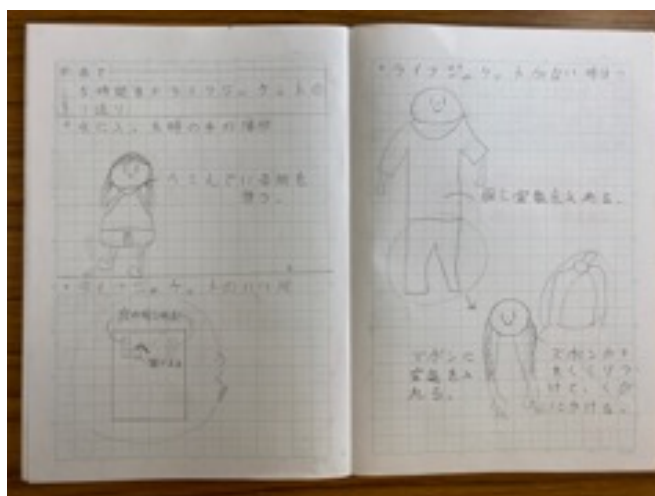
開催日時	2022年6月27日（月）
開催場所	大阪府 東大阪市立縄手東小学校
主催・依頼	日本ライフセービング協会・東大阪市立縄手東小学校
ライフセーバー	竹内啓・近藤七星
<p>4・5・6年生を対象に各学年に対して45分でプール実技を実施しました。学年が上がるにつれて、ボディーローテーションの難易度を上げたり、使用する言葉を考慮し、各学年の理解度に合わせたプログラムが実施できたと感じています。</p> <p>また、中休みや昼休みに児童と上手くアイスブレイクができたため、プログラム進行中も児童と楽しく実施することができました。</p>	
	

▶ 出張授業 高槻市立寿栄小学校

開催日時	2022年7月11日（月）
開催場所	大阪府 高槻市立寿栄小学校
主催・依頼	日本ライフセービング協会・高槻市立寿栄小学校
ライフセーバー	竹内啓・中村佐知子・近藤七星
<p>6年生（57名）、4年生（51名）を対象とし、それぞれ約40分の授業時間でプール実技を実施しました。一度に多数の児童を前に実技授業を進めていく状況で、教職員と協力をして実施することが出来ました。</p> <p>授業時間内に児童の更衣時間が含まれており、授業の進行において時間管理に誤差が生じたため、事前に学校側との十分な打ち合わせ等で確認をする必要がありました。また、プールが広いことや、児童数が多かったため、水しぶきの音等が大きくなり、すべての児童に指導者の声が届いていない場面が数回見受けられたので、学校側が拡声器を用意して下さっていたが、水辺のプログラムで入水をしての使用は厳しく、今後のプログラム実施にあたっての検討事項となりました。</p>	
	

▶ 出張授業 高槻市三箇牧小学校

開催日時	2022年7月13日（水）・14日（木）
開催場所	大阪府 高槻市立三箇牧小学校
主催・依頼	日本ライフセービング協会・高槻市立三箇牧小学校
ライフセーバー	竹内啓・中村佐知子
<p>13日は3年生（34名）と4年生（34名）、14日は1年生（28名）と2年生（27名）を対象に授業を実施しました。1限を教室でのe-Learning学習、続いての1限をプールでの実技として授業を組み立て、水辺で自分の身を守る方法を伝えました。雨天の時には教室内でライフジャケットの取り扱いを実施しました。</p>	



ライフセービングに関する事業（事故防止活動・関係機関連携）

▶ 臨海学校（四條畷学園/池田市立池田小学校）

開催日時	2022年7月19日（火）～21日（木）/7月28日（木）～30日（土）
開催場所	京丹後市 夕日ヶ浦海水浴場
ライフセーバー	山本良徳、土谷こころ、中村佐知子
<p>COVID-19の影響を受け中止が続いていた臨海学校でしたが、3年ぶりに2校から依頼を受けて、夕日ヶ浦海水浴場で開催をすることができました。四條畷学園は例年からの継続依頼で、池田市立池田小学校は新規での依頼でありました。</p> <p>臨海学校に参加する児童たちは、普段の学校でのプール授業で水に親しんだ上でこの臨海学校に臨んでいることが伝わってきます。</p> <p>先生方も海という自然環境に親しむ大切さを理解し、先生自身も児童と一緒に海を楽しんでいる姿はとても印象的でした。</p> <p>引き続き、監視活動での関わりを継続し、自然を生かした臨海学校が、今後も続くこと</p>	




▶ 由良川里山プロジェクト（SUP体験ガード）

開催日時	2022年10月9日（日）
開催場所	福知山市 由良川支流（牧川）
主催・依頼	福知山環境会議
ライフセーバー	山本良徳、中村佐知子
<p>由良川里山プロジェクトは今年初めて開催をされたプロジェクトです。私たち自身も海での活動が多く、河川での監視活動には新鮮さがありました。10月上旬ではありましたが、朝から雨が続き、終始寒い中での監視となりました。海に比べ川は水温が低いことや、水深が均一ではないことや、独特の流れ・対流等の変化があるなど、監視を行う上での事前準備が大切だと感じました。</p>	



ライフセービングに関する事業（事故防止活動・関係機関連携）

▶ トライアスロン競技会 びわ湖トライアスロンin近江八幡


開催日時	2022年6月5日（日）
開催場所	滋賀県近江八幡市 宮ヶ浜水泳場
主催・依頼	一般社団法人滋賀県トライアスロン協会
委託人数	石井佑子、今堀加奈子、菊地淳、奥田侑眞、竹内啓 武田隆秀、土谷こころ、中村佐知子、中村智幸、山本良徳（計10名）
<p>私たちライフセーバーにとっても3年振りとなるトライアスロンガードでした。前日の準備から始まり、当日の朝には信頼のできるメディカルチームとの引き継ぎトレーニングを兼ねたシミュレーションも行い、万全の体制で大会ガードを行いました。スイムを行う琵琶湖は穏やかなコンディションで、ピックアップやリタイアはありましたが大きな事故なく終えることができました。</p> <p>この大会で新たな試みとして、ウォーターパークチューブ(WPT)を導入しました。金具がない分、距離感に関わらず選手にコンタクトがしやすく、レスキューボード上での取り回しも問題がなくとても有効でした。</p> <p>3年ぶりの大会を通して、人が集まることは大きなエネルギーを産むと再認識しました。</p>	
	

▶ トライアスロン競技会 LAKE BIWA TRIATHLON in 守山


開催日時	2022年7月2日（日）
開催場所	滋賀県守山市 第2なぎさ公園
主催・依頼	LIKE BIWA TRIATHLON実行委員会
委託人数	石井佑子、稲垣貴大、今堀加奈子、菊地淳、小出直樹、高浦悠希、竹内啓、武田隆秀、土谷こころ、中村佐知子、西村友尚、根岸怜央、松本まりな、三輪恵吾、山本良徳（計15名）
<p>梅雨明けの猛暑の中での大会となりましたが、無事故で終えることができました。過去のトライアスロン大会での監視活動の経験を活かし、打ち合わせや事前準備、また各機関との連携に時間を割きました。特にメディカルチームとの緊急事態対応のシミュレーションの機会には、貴重な経験で、万全の体制でガードに臨むことができました。今後大会規模が大きくなり、スイムのコースも変化することが想定される大会ですが、過去の経験や大会スタッフの皆様との交流を生かして、充実した大会監視が行えるように体制を強化していきたいです。</p>	
	

ライフセービングに関する事業（事故防止活動・関係機関連携）

▶ トライアスロン競技会 京都丹波トライアスロンin南丹


開催日時	2022年8月7日（日）
開催場所	南丹市 桂川(大堰川緑地公園)
主催・依頼	京都丹波トライアスロンin南丹実行委員会
委託人数	石井佑子、今堀加奈子、武田隆秀、土谷こころ、 中村佐知子、根岸怜央、三輪恵吾、山本良徳（計8名）
<p>猛暑の中での大会開催となり、選手のやスタッフの熱中症等も心配される中でしたが、大きな事故なく無事に終わることができました。京都府下で開催される唯一のトライアスロン大会は、スイムコースが桂川に設定されています。深さはなく流れも穏やかではありますが、川の流下と遡上を往復するコース特性があります。今年度は充実した監視体制の構築のために、IRBと水上バイク、そしてレスキューボードでの監視を実施しました。今後のモデルケースとなる取り組みを安全に実施することができ、今後の監視体制に良い影響を及ぼすことができました。</p>	
	

▶ JLAスポーツ庁事業報告会 宮津市立 宮津小学校


開催日時	2023年2月7日（火）
開催場所	宮津市立 宮津小学校
主催・依頼	日本ライフセービング協会 地域教育推進委員会
ライフセーバー	中村佐知子
<p>夏休み前に出前授業を実施し、その際に実践研究校として協力して頂いた宮津小学校に対して、研究の報告とライフジャケットの寄贈に行きました。出前授業では、授業を受けた児童や保護者の反応、先生の感想等をうかがうことができなかったため、今回の報告会では、授業の感想や、来年度の構想などについても意見交換をすることができました。宮津市は海に面した町という特徴があるため、登下校中や休日にも水辺に触れる機会が多いと思います。</p> <p>正しい知識を身に付け、自分の命は自分で守れる宮津っ子が増えてきたことを改めて実感することができました。</p>	
	

ライフセービングに関する事業（事故防止活動・関係機関連携）

▶ JLAスポーツ庁事業報告会 宮津市立 吉津小学校


開催日時	2023年2月9日（木）
開催場所	宮津市立 吉津小学校
主催・依頼	日本ライフセービング協会 地域教育推進委員会
ライフセーバー	中村佐知子
<p>出前授業の実践研究校として協力して頂いた御礼とご報告とライフジャケットの寄贈に行きました。吉津小学校はこれまでプール授業を実施していた近隣施設の閉館により、来年度はどのようにプールの授業を展開していくのか模索をされていました。どのような形であれ、私たちライフセーバーが水辺の安全教育について、学校のお手伝いができないかと意見交換を行いました。</p>	
	

▶ JLAスポーツ庁事業報告会 宮津市立 府中小学校


開催日時	2023年2月14日（火）
開催場所	宮津市立 府中小学校
主催・依頼	日本ライフセービング協会 地域教育推進委員会
ライフセーバー	中村佐知子
<p>出前授業の実践研究校として協力して頂いた御礼とご報告とライフジャケットの寄贈に行きました。授業後にゆっくりお話しする機会がなかったので、授業後の児童・保護者の反応、先生の感想、来年度の構想など意見交換をすることができました。</p> <p>宮津市内で最も海に近い小学校ですが、来年度のプール授業については消極的な取り組みの印象がありました。自分の命は自分で守れる児童が増えるためにも、多方面からのアプローチをしていきたいと感じました。</p>	
	

ライフセービングに関する事業（事故防止活動・関係機関連携）

IRB（インフレーターブルレスキューボート）進水式

開催日時	2022年4月23日（土）
開催場所	舞鶴市 舞鶴漕艇センター
<p>導入を検討してきた、インフレーターブルレスキューボート（IRB）が納品され、機材の組み立てと進水式を行いました。</p> <p>長年の想いがひとつのカタチになり、京都の海にIRBが浮かびました。</p> <p>ライフセービングスポーツはもちろん、トライアスロンなどのイベントガード等で活用をし、機動力と収容量を生かした安全監視を実施します。</p> <p>今後はIRBクルー、ドライバー講習会の開催や、公的救助機関との連携・協定を視野に入れ、IRBを用いた活動を充実させていけたらと思います。</p>	
	


ビーチクリーン・防災

開催日時	2022年5月22日（日）
開催場所	天橋立海水浴場
主催・依頼	テストimoniー, ママドットコミュ, 京都府ライフセービング協会, 天橋立ライフセービングクラブ
<p>ライフガードの日になんで非営利団体Testimony（テストimoniー）と共催で、天橋立の海岸清掃とライフセーバーよる海の安全講習を実施しました。普段は大阪城周辺でプロギング活動をされているテストimoniーですが、今回はビーチクリーン活動を一緒に行いながら、防災についても楽しく学びました。防災士一家が運営されるママドットコミュからは、一見味っけのない防災食にひと工夫をすることによって、楽しく調理をして、美味しく食べる体験を提供していただきました。環境や防災にミッションを持つ、ライフセーバーだけではない繋がりを新たに構築することができ、次年度以降も実施を検討していきたいです。</p>	
	


2 ライフセービングに関する指導及び普及事業



▶ BLS講習会

開催日時	2022年6月11日（土）		
開催場所	松風/丹後由良海水浴場（宮津市）		
主管	天橋立ライフセービングクラブ		
受講者/スタッフ	受講者	6名	スタッフ 0名
インストラクター	竹内啓、中村佐知子		
<p>e-Learningを活用して午前中の半日での講習会を実施しました。 この取り組みはe-Learningを導入して、BLS・WS・BASICの3つの資格を4日間で取得をする講習会として、京都府下で初めて実施をしたベーシック講習会です。 事前学習を効率的に行うことで、大幅な日数を削減できるメリットがある反面、スキルを習熟し反復する時間も短くなってしまいうデメリットも感じられました。</p>			
			

▶ ウォーターセーフティ講習会

開催日時	2022年6月11日（土）		
開催場所	松風/丹後由良海水浴場（宮津市）		
主管	天橋立ライフセービングクラブ		
受講者/スタッフ	受講者	6名	スタッフ 0名
インストラクター	竹内啓、中村佐知子		
<p>e-Learningを活用して、BLS講習会に引き続き午後の半日で講習会を実施しました。 実技は海でのプログラムを行い、非常に穏やかな環境下で、潮の流れや足がつかない水深を利用したプログラム、またライフジャケットの取り扱い等も実施をしました。</p>			
			

2 ライフセービングに関する指導及び普及事業



▶ ベーシックサーフライフセーバー講習会

開催日時	2022年6月12（日）・18（土）・19（日）		
開催場所	松風/丹後由良海水浴場（宮津市）		
主管	天橋立ライフセービングクラブ		
受講者/スタッフ	受講者 6 名	スタッフ 1 名	
インストラクター	竹内啓、土谷こころ、山本良徳		
<p>e-Learningを活用し、BLS/WS講習会に引き続きベーシック講習会を3日間で開催をしました。開催日によって海のコンディションが変化する中で、さまざまな環境下での実技講習を実施することができました。3日間の時間的な制約のある講習会で、実技講習を詰め込む配分にもなりましたが、受講生が目標に向かって講習会を進めていきました。</p>			

▶ IRB クルー&ドライバー講習会

開催日時	2023年2月25（土）・26日（日）		
開催場所	リゾートオフィス丹後由良交流拠点/丹後由良海水浴場		
主管	天橋立ライフセービングクラブ		
受講者/スタッフ	受講者 3 名	スタッフ 1 名	
インストラクター	鈴木慎一（IRB競技分科会）、山本良徳		
<p>IRB競技分科会から講師として鈴木指導員をお迎えし、水温も冷たく波もハードなコンディションとなった由良海水浴場で講習会を開催しました。IRBの組み立てやメンテナンス等の取り扱いはもちろん、波風のある環境下でのナビゲーションや操船、そして安全管理や監視活動での活用について、実践から学ぶ機会となりました。</p>			

2 ライフセービングに関する指導及び普及事業



▶ 指導員養成講習会 サーフライフセービング

開催日時	2022年5月7日（土）・7月9日（土）・7月13日（日）		
開催場所	リゾートオフィス丹後由良交流拠点/丹後由良海水浴場（宮津市）		
主管	日本ライフセービング協会		
受講者/スタッフ	受講者 3 名	スタッフ 0 名	
インストラクター	関口義和（サーフ委員長）、竹内啓、山本良徳		
<p>京都府下で初めてとなる、サーフ指導員養成講習会を開催することができました。地元クラブの天橋立LSCから2名が受講をしました。海水が冷たいコンディションの中でしたが、サーフ講習会における知識や技能をアウトプットし、受講者が団結をしながら講習会を進めていました。本講習会は、感染症禍の影響もあり、講習会スケジュールが幾度となく変更を余儀なくされる状況となりましたが、最後まで実施をすることができました。今後も西日本でのサーフ指導員の育成と充実のため、講習</p>			

▶ 指導員養成講習会 ウォーターセーフティ

開催日時	2023年3月11日（土）・12日（日）		
開催場所	アミティ丹後・静の里温水プール		
主管	日本ライフセービング協会		
受講者/スタッフ	受講者 2 名	スタッフ 0 名	
インストラクター	小林利弘（WS委員長）、竹内啓（WS委員会）、山本良徳		
<p>2年ぶりとなるWS指導員養成講習会を京丹後市で開催しました。受講生は少ない講習会となりましたが、多くのインプットとアウトプットを繰り返し、実践的に受講生同士が工夫をして学び合っていました。3月11日という大震災のあった日に講習会を開催ということで、改めてWSの概念から、指導員として見つめ直す機会となりました。</p>			

2 ライフセービングに関する指導及び普及事業



更新講習会

開催日時	2023年2月18日（土）		
開催場所	京田辺市 中央公民館		
主管	天橋立ライフセービングクラブ		
受講者/スタッフ	受講者	14名	スタッフ 0名
インストラクター	土谷こころ、原至生		
<p>e-Learningを活用した講習会を開催しました。グループに分かれて実施をした実技講では、お互いが手技の確認や指摘をし合い、より質の高いスキルアップを目指して取り組みました。受講者が増えるほどその立場や背景も様々となるため、互いのスキルや知識を刺激するとともに、誰でもどんな立場であっても、共通のライフセービング活動ができるということを再確認することができました。</p>			

更新講習会

開催日時	2023年3月21日（火）		
開催場所	京田辺市 中央公民館		
主管	天橋立ライフセービングクラブ		
受講者/スタッフ	受講者	3名	スタッフ 0名
インストラクター	原至生、近藤七星		
<p>少人数の講習会となりましたが、受講者同士のフィードバックが活発で、お互いが今以上のスキルアップを目指そうという意識が高かったです。専門的な知識と実績を持った受講者もおられ、少人数であるからこそその意見交流や活動浜での経験を聞くことができ、指導員・受講生共に学びの多くある講習会でした。</p>			

2 ライフセービングに関する指導及び普及事業



▶ 指導員派遣

講習会名	プールライフガードイング講習会 (e-learning対応)
開催日時	2022年4月10日
開催場所	三原リージョンプラザ
依頼元	福山ライフセービングクラブ
派遣インストラクター	山本良徳

講習会名	教員研修会
開催日時	2022年7月8日
開催場所	能勢町立能勢ささゆり学園
依頼元	JLA教育本部
派遣インストラクター	竹内啓

講習会名	ウォーターセーフティ講習会
開催日時	2022年8月24日
開催場所	大阪府立摂津高等学校
依頼元	大阪府立摂津高等学校
派遣インストラクター	竹内啓

講習会名	IRB講習会
開催日時	2022年9月23日、24日
開催場所	尾道市マリン・ユースセンター
依頼元	福山ライフセービングクラブ
派遣インストラクター	竹内啓

2 ライフセービングに関する指導及び普及事業



▶ 指導員派遣

講習会名	公的救助機関IRB講習会
開催日時	2022年11月8, 9, 10日
開催場所	富山県砺波市消防本部
依頼元	砺波市消防本部
派遣インストラクター	山本良徳

講習会名	公的救助機関IRB講習会
開催日時	2022年11月17日、18日
開催場所	福岡市民防災センター、シーサイドももち海浜公園
依頼元	福岡市消防局
派遣インストラクター	竹内啓

講習会名	リーダー講習会（オンライン）
開催日時	2022年12月17日
開催場所	オンライン
依頼元	JLAジュニアエデュケーション委員会
派遣インストラクター	土谷こころ

講習会名	BLS指導員養成講習会
開催日時	2023年1月28日、29日
開催場所	大阪ハイテクノロジー専門学校
依頼元	日本ライフセービング協会
派遣インストラクター	山本良徳、土谷こころ

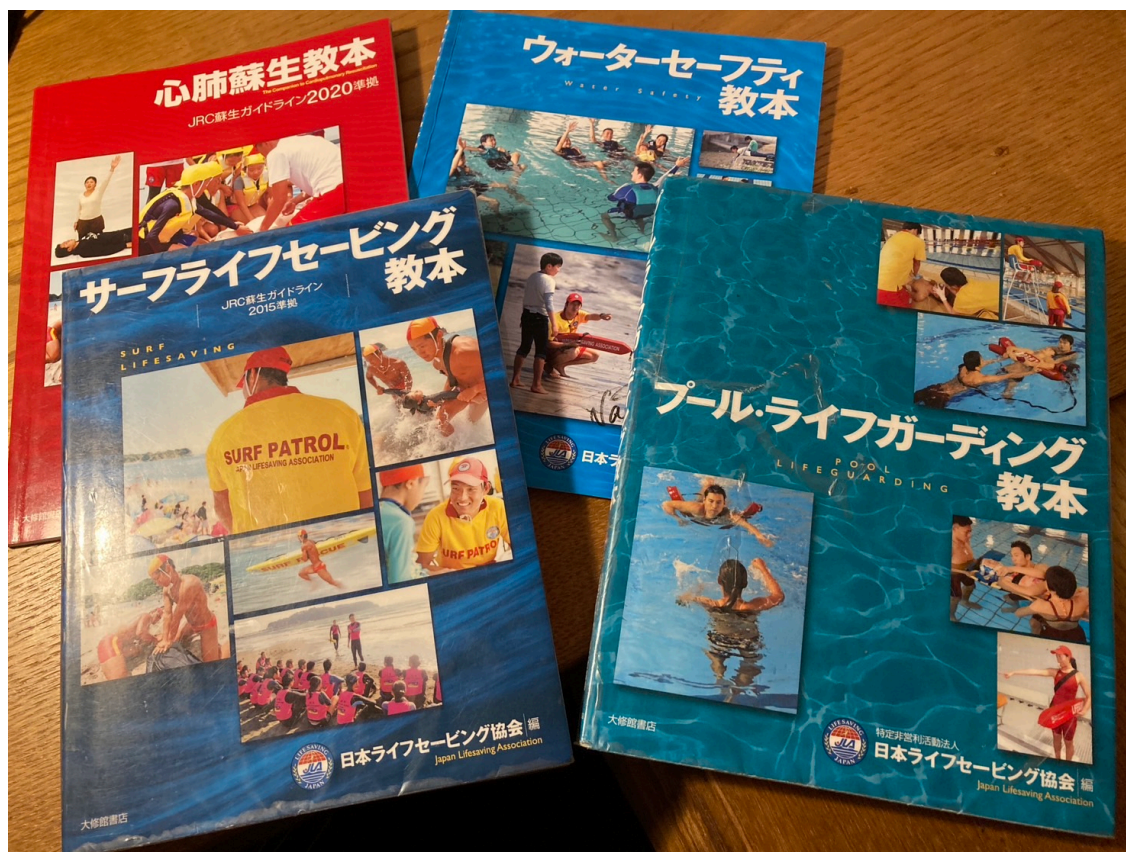
2 ライフセービングに関する指導及び普及事業



▶ 指導員派遣

講習会名	ウォーターセーフティ指導員養成講習会
開催日時	2023年3月5日、6日
開催場所	スポーツクラブ ビッグラン
依頼元	JLAウォーターセーフティ委員会
派遣インストラクター	竹内啓

講習会名	ウォーターセーフティ指導員養成講習会
開催日時	2023年3月11日、12日
開催場所	アミティ丹後・静の里温水プール
依頼元	JLAウォーターセーフティ委員会
派遣インストラクター	竹内啓・山本良徳







3 ライフセービングに関する競技会

▶ 全日本ライフセービング選手権近畿ブロック予選

開催日時	2022年9月18日（日）
開催場所	丹後由良海水浴場（宮津市）
主催・依頼	日本ライフセービング協会
ライフセーバー	山本良徳、中村佐知子、今堀加奈子、高浦悠希、土谷こころ、西田光希、西村友尚、武田隆秀、松本まりな、三輪恵吾（計10名）

京都府下で初のライフセービング競技会が、活動ビーチである丹後由良海水浴で行われ、選手・スタッフとして大会に参加しました。




選手では天橋立LSCの2名が大健闘し全日本選手権の切符を手にしました。またスタッフは前日準備から当日の運営までそれぞれの担当で活躍し、メンバーが様々な形で大会に関わりました。大会を通して他クラブの方々と交流ができ、とても良い時間となりました。京都初大会がホームビーチで行われたことがとても嬉しかったです！



▶ オーシャンサーフチャレンジin白浜2022





開催日時	2022年10月30日（日）
開催場所	和歌山県 白良浜海水浴場
主催・依頼	日本ライフセービング協会
ライフセーバー	山本良徳、中村佐知子、今堀加奈子、竹内啓、三輪恵吾

大会運営・選手・安全課と、様々な立場で大会に関わり、メンバー1人ひとりがそれぞれの場所で活躍しました。競技会では各地からライフセーバーが集まり、久しぶりの方や初めましての方、沢山の方と交流することができ、ライフセービングの輪が広がる良い時間となりました。今回はホスト協会として主たる運営と安全課の中心を京都府協会が担いました。競技安全課からはゲスト委員をお招きして安全課に関わるレクチャーの時間もあり、活動を共にしたメンバーはとても良い経験ができたかと改めて感じました。今後も安全な大会運営や競技会の一掃設定、撤収、安全課などの経験値を増やし、ライフセービングの輪を広げられるように取組みます。







3 青少年に対するライフセービング事業

▶ Jr. ライフセービングプログラム(地域総合型スポーツクラブRAINBOW)


開催日時	2022年8月1日(月)
開催場所	天橋立海水浴場(宮津市)
主催・依頼	天橋立ライフセービングクラブ・地域総合型スポーツクラブRAINBOW
ライフセーバー	竹内啓、中村佐知子
<p>昨年に続き、2年目となる宮津市内のスポーツクラブに集う子どもに向けてのジュニアプログラムを開催しました。スポーツクラブRAINBOW(レインボー)と共催で、天橋立の海岸清掃とライフセーバー体験を行い、水辺で安全に楽しく遊ぶ知識をレクチャーしました。</p> <p>プログラムの終盤では、子どもたちの希望で遊泳区域を示す沖のコースロープまでみんなで泳ぐチャレンジを行いました。みんなで声を掛け合い、全員でゴールできたことは子どもたちの笑顔と自信につながったと思います。</p>	
   	

▶ Jr. ライフセービングプログラム 競技会(交響プロジェクト)

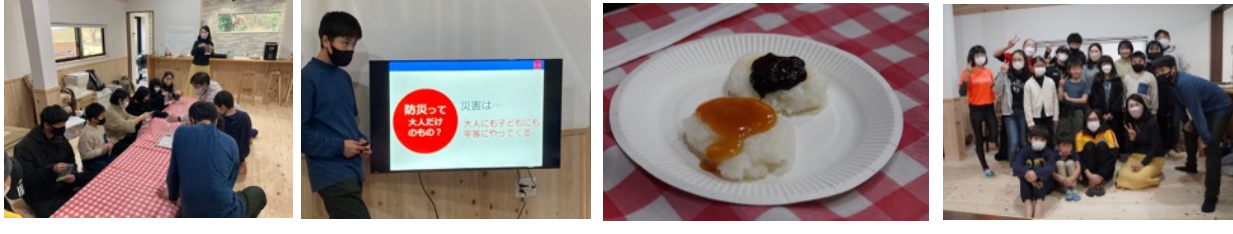
開催日時	2022年9月18日(日)
開催場所	丹後由良海水浴場(宮津市)
主催・依頼	天橋立ライフセービングクラブ
ライフセーバー	中村佐知子、松本まりな
<p>同日同会場で、全日本ライフセービング大会近畿ブロック予選会が開催されていたので、ライフセービング競技を間近で見る機会として、競技会の見学プログラムを実施しました。見学だけでなく、海の安全についてもレクチャーをし、実際に競技種目でもあるビーチフラッグスとボードレースを体験してもらいました。スタッフ以外にも、当日大会に出場した選手の協力もあり、楽しく競技会体験ができたプログラムとなりました。</p>	
   	

3 青少年に対するライフセービング事業

▶ Jr. ライフセービングプログラム BLS (交響プロジェクト)

開催日時	2022年12月25日(日)
開催場所	宮津市 いなかよし
主催・依頼	天橋立ライフセービングクラブ
ライフセーバー	中村佐知子、今堀加奈子
<p>「もし人が倒れたら?」というテーマで小学生対象のジュニアプログラムとして、BLSを行いました。夏場に海やプールでのジュニアプログラムだけではなく、冬場に屋内でジュニアプログラムを実施する事は初めてでしたが、子どもたちは初めて見るレサシアン人形やAEDトレーナーに興味津々でした。特に胸骨圧迫をみんなで作ってみたいり、AEDのショックボタンを実際に押してみたりと、積極的に楽しく取り組んでくれた事が印象的でした。</p>	
	

▶ Jr. ライフセービングプログラム 防災 (交響プロジェクト)

開催日時	2023年1月14日(土)
開催場所	宮津市 いなかよし
主催・依頼	天橋立ライフセービングクラブ・ママドットコミュ
ライフセーバー	中村佐知子
<p>この回では講師(防災士)を招いて、「防災について考えよう」を開催しました。防災食であるアルファ化米を使用した五平餅を作ったり、宮津市内で活動する防災キッズの参加もあり、それぞれの活動を共有したり、学び合うとても充実した会になりました。</p>	
	

3 青少年に対するライフセービング事業

▶ Jr. ライフセービングプログラム 環境（交響プロジェクト）

開催日時	2023年3月11日(土)
開催場所	リゾートオフィス丹後由良交流拠点/丹後由良海水浴場
主催・依頼	天橋立ライフセービングクラブ
ライフセーバー	中村佐知子、中村智幸

丹後由良海水浴場でジュニア対象の「環境」イベントを開催しました。海浜のビーチクリーンとワークショップを通じて、海洋ゴミを初めとする環境問題について、子どもたちと学ぶ機会を提供できました。また、このプログラムでは参加費を徴収し、プログラムを運営することができました。年間を通したジュニアプログラムの実践を今後の活動にも活かしていきたいです。




講演会

▶ 「文部科学省選定映画」 夢みる小学校上映会

開催日時	2022年11月19日（土）・20日（日）
開催場所	舞鶴市総合文化会館 小ホール
主催・依頼	桜artアンサンブル
ライフセーバー	山本良徳、中村佐知子
<p>今回は主催として一般社団法人桜artアンサンブルさんの映画上映会に、私たちは共催として関わらせていただきました。</p> <p>こんな学校が本当にあるのか！こんな学校行ってみたい！と感じる映画の上映を通して、今ある学校の仕組みや制度を改めて考えさせられました。</p> <p>また、このようなイベント運営を通して、ライフセービングに関わらず、イベントのPRや企画力を養い、他団体との協力体制を深める機会にもなりました。</p>	
	

▶ 環境活動家 地球を守ろう代表谷口たかひさ お話会

開催日時	2022年12月1日（土）
開催場所	舞鶴市城南会館
主催・依頼	京都府ライフセービング協会・天橋立ライフセービングクラブ
ライフセーバー	山本良徳、中村佐知子
<p>京都府ライフセービング協会主催のもと、舞鶴市内で2回目となるお話会を開催しました。事前申込+当日参加で約80名の方にご参加いただきました。一生懸命話を聞く方、メモをとる方、写真や動画を撮る方、子どもをあやしながら懸命に聞くお母さん、そして涙している方にじんとくるものがありました。質問タイムでは時間ギリギリまでたくさんの質問が飛び交い、笑いも起きて、とても心が豊かになる時間でした。環境問題と自己肯定感、そしてお母さんの存在。すべて繋がっているんだと改めて実感することができました。</p>	
	

SUBARUライフセーバーカー

▶ SUBARUライフセーバーカー 活動

開催日時	2022年6月2日（木）
開催場所	京都スバル舞鶴店
ライフセーバー	山本良徳、竹内啓、中村佐知子
<p>2年連続で京都スバルから「ライフセーバーカー」としてフォレスターを協賛いただくことができました。夏季のイベントガードや学校訪問、また海水浴場の視察や監視活動を中心に使用をさせていただき、ライフセーバーとして広報や水辺の事故防止の呼びかけを行うことができました。</p> <p>協賛期間の終了後は、京都スバル本社にて展示車両として、ライフセーバーカーでの活動記録と共に京都府下でのライフセービング活動についての展示も行って頂きました。</p>	



Ⅲ 通常総会

▶ 2022年度通常総会

開催日時	2023年4月9日（日）
開催場所	オンライン／リアル開催 舞鶴漕艇センター

- ・ 2022年度事業報告
- ・ 2022年度決算報告
- ・ 2022年度監査報告
- ・ 2023年度事業計画（案）
- ・ 2023年度予算（案）他



山本 良徳
 やまもと よしのり
 2000年～ 舞鶴ライフセービングクラブ、
 京都ライフセービング、
 天橋立ライフセービングクラブ

小学校の後輩に誘われてライフセービングをはじめ、現在は京都府ライフセービング協会理事、JLA7カテゴリーラワカチーフ委員会委員。



745



281



137

THANK YOU ! [KYOTOLIFESAVING] follower

2023/3/31



特定非営利活動法人京都府ライフセービング協会



625-0045 京都府舞鶴市多門院760

E-mail office@kyotolifesaving.org

URL <http://kyotolifesaving.org/>